

# 進学 Now!

石橋高校  
進路指導部  
保護者版 9月

2025.9

## 0. はじめに

今年の夏も大変暑い夏となりましたが、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。7月末の東北大学オープンキャンパスツアーには、1年生を中心に多数参加していただきました。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。各大学のオープンキャンパスにも、お子さまと一緒に参加されていると思いますので、まだ見学の記憶が新しい間に、ご家庭において進路について話し合う機会を多く持っていただくよう、お願いいたします。

学校祭が無事終了し、いよいよ2学期の授業が本格化しました。2学期は重要な学校行事が続きますが、行事終了後はすぐに気持ちを切り替えられるよう、保護者の皆様も積極的な声かけをお願いします。気持ちの切り替えには、結果が返却された進研模試（6月末実施）の見直しが有効です。結果表を元に模擬試験の見直しを徹底することで、自分の弱点を理解し、今後の学習の指針を立てることができます。各学年集会でも模試結果を題材に、今後の学習についての指導を実施します。保護者の皆様も生徒の結果表と共に、「本校の模試分析」も是非ご覧ください。

10月上旬のPTA学年部会では、各学年共に進路指導部の講話が予定されています。大学受験のシステムと今後の話題が中心になります。是非、出席されるようお願い致します。

## 1. 大学入試共通テストの出願について（これまでの経過と今後の留意点等）

7月のマイページ作成の際、ユーザーID（メールアドレス）とパスワードを決定しました。保護者の皆様も情報の共有をお願いします。また、9月2日の「共通テスト出願説明会」で詳しい説明をしましたが、出願に必要なものは、「顔写真データ」と「検定料」となります。検定料支払い方法は3通りあります。詳しくは受験案内をお読みください。今後の日程は下記のとおりです。

9月16日（火）～10月3日（金）出願登録と検定料支払期間
→ 出願登録内容は、「志願者個人情報」、「受験教科・科目」、「検定料支払い方法」等
→ <a href="#">在籍する学校への情報提供の欄を、「同意する」をクリックをお願いします。</a>
→ 顔写真データはカラー・白黒問わない。（試験中に眼鏡使用者は、眼鏡をかけて撮影）
10月10日（金）～10月17日（金）出願内容の確認・訂正期間
12月10日（水）～ 受験票の取得・印刷（A4で白の用紙、カラー・白黒は問わない）
1月17日（土）18日（日）令和8年度大学入試共通テスト（本試験）

学校でも出願指導は十分していきますが、出願自体はあくまで志願者の自己責任になります。

1、2年の保護者の皆様も来年度以降に備え、参考にいただければ幸いです。

## 2. 3年生のこの時期

「受験生の天王山」である夏休みが終了しました。今後は**残された時間を考慮しながら**、生徒一人ひとりが自分の可能性を最大限に引き出す**努力の日々**となります。6月の学年部会でもお話しさせていただいたとおり、時間が経過すると心身共に苦しくなる時期にはなりますが、なんと言っても大学受験の最大の敵は、「焦る」「あきらめる」「決め付ける」です。受験生は口には出さなくても、保護者の皆様に日々感謝しています。「信じる」「見守る」「支える」ことを念頭に、側面から受験勉強に専念できる環境を整えていただきますようお願いいたします。

10月は毎週のように模擬試験が実施されます。外部模擬試験の進研模試（マーク・記述）、全統模試（マーク・記述）が終了しますと、そのデータをもとに、大学ごとの合否判定が検索できるようになります。データが出そろるのは受験の約1ヶ月後になりますが、試験の成績や進路面など心配事がございましたら、遠慮なく担任までご相談ください。

今回特に強調しておきたいことは、「[本校生の成績の伸びは、最後まで続く](#)」という応援です。これまでの本校生の例を分析しますと、12月・1月・2月になって大きな伸びを見せる生徒も

少なくありません。学力の伸びは「直線的」ではなく、「2次曲線的」に伸びていきます。努力が伴わない場合、疑心暗鬼になりがちですが、最終的な勝負は入試本番です。入試当日に学力のピークを持って行くことが何よりも大切です。進路目標達成に向け、最後まで辛抱強く励ましていただけると幸いです。

## 3. 2年生のこの時期

高校生活の半分が経過し、部活動でも学校生活でも中心的な役割を担う立場になってきました。進路についても、11月から模擬テストが**3教科型から5教科6科目型に変わり**、本格的に志望校を考える時期になります。普段の学習も国数英の3科目から、地歴と理科を加えてどこまでこなせるかが重要になる時期でもあります。その反面、忙しい生活に拍車がかかり、学習習慣が乱れがちな時期にもなりますので、ご家庭でもご指導のほどお願いします。

2学期末には、文理の変更はできませんが、受験したい大学によって「[国公立コース](#)」と「[私立コース](#)」のいずれかを選んでいただきます。この選択は3年次のクラス分けや授業内容に違いが出てきますので、大きな選択となります。ご家族でもお互いの進路について**譲れない条件**を出し合いながら、十分に話し合ってください。クラス編成は、私立クラス・国公立クラスという分け方ではなく、国公立大学志望者のみのクラスと混合クラスが予定されています。

コースを選択するには、学部学科の絞り込み作業を通して、「自分軸」を作ることが何よりも重要です。企業も大学名のみで採用する時代ではありません。**「所属大学よりも、どんな受験方式の入試で入学したのか？」**を重視する企業もあります。キャンパスの立地や華やかさに惑わされることなく、教育環境を追究することが重要です。

## 4. 1年生のこの時期

入学して半年が近づき、高校生活に慣れてきたこととは思いますが、同時にこの時期は、3年間で最も実力の動く時期でもあります。今後も学校に軸足を置き、予習・授業・復習を絡めた黄金のサイクルを確立させることで、**望ましい学習習慣を身につける**ことが重要です。

2学期初めに返却された進研模試の結果を初めて見て、驚いている生徒も多いと思います。中学校での学習や試験の成績は、あくまでも中学生の段階のものであり、高校生のそれは全く別物です。模擬テストの結果をご覧になりながら、学習への取り組み状況をご確認ください。その際、単純に順位や点数のみに着目するのではなく、各科目の設問毎の状況等もご覧になりながら、ご家庭でも励ましの言葉をかけていただければ幸いです。

2年生からはクラスが**文型と理型に分かれ、類型毎に授業内容が大きく変化**します。大学受験は大学や学科毎に入試科目や配点が大きく異なるため、入念な下調べが必要です。得意な科目を中心に選んだり、苦手科目を避けた選択は、今後のミスマッチが起こりやすくなります。重要なのは、学びたい学問を、就きたい職業や将来の夢から逆算して考える、賢い選択をすることです。多面的な検討は勿論必要ですが、**熱意があれば、適性は後からついてくるものです。**10月からコース選択説明会が始まりますが、文型は地歴で「日本史探究」と「世界史探究」の選択、理型は理科で「物理」と「生物」の選択も含めて2回希望調査を行い、3学期初めに最終決定します。不明な点は遠慮なくおたずねください。

## 5. 結びに

2026年度入試が目前に迫り、様々な分析や検討が行われた結果がネット上を賑わせておりますので、確かな情報を十分に集めてご検討いただきたいと思います。また1・2年生の保護者の方々も、このような変化を肌で感じていただき、時間をかけてご検討いただきたいと思います。参考までに、国の支援が期待され、数年前からデータ・サイエンス系学部がブームになったこともあり、**「デジタル系の学部・学科の新設」**が急増しています。関連して、**「理工系の女子を対象とする選抜」**を実施する国公立大学は、令和7年度入試で30大学を数えました。

毎回申し上げておりますが、温かく見守り支援していただける保護者の皆様のもと、適切な指導と情報提供ができる教員が協力していく体制を築くことが何よりも大切だと考えています。お子様の希望をできるだけ叶えられるよう、全力で支援してまいりたいと思います。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。進路指導部